



太子講

聖徳太子がお寺を建立するために現在の太子橋辺りにこられ大庄屋田嶋家で休息しました。

その時に、田嶋家が聖徳太子にお茶とヨモギ団子をお出しし、非常にお喜びになり、自画像等をお贈りしました（旭区民センターに展示あり）。これが太子講のはじまりです。

木犀もくせいの陣屋跡

古市村大字森小路字森（現在の千林二丁目）に見事な木犀の木があり、その香りが関目辺りに漂いました。木犀の木は庄屋（浅田家）の庭にあり、將軍徳川家茂はこの香りをいたく気に入り、浅田家に宿泊しました。以後、諸大名もこの木犀の木を鑑賞しました。

なお、文久三年（1863年）四月、家茂は大阪に入り約四ヶ月間関西に滞在した折り、陣屋に寄ったと推測しております。以上のことは太子講の当主田嶋氏よりお教え頂、また、資料も頂きました。

<中村>

太子橋地区における太子講の行方は？

地域史作成を進めていくうちに、太子講の資料が少ないことに気がついたので、何とか情報を得たいと思い、地域の古いことを良く知っておられる方をお願いしていました。

それは丁度お釈迦様の日、4月8日のことでした。桜の花びらが風に舞っている太子橋中公園の東北あたりの通り道で、犬と散歩中の田嶋さんの息子さんに運良く、偶然お会いすることができました。お願いしていた方もご一緒だったので、すっかり話し込んでしまいました。

ほんの近くに住んでいたにも拘わらず、私は初めてお目にかかったのですが、幸いに先方は私の母をご存知だったので、周囲の移り変わりや思い出話に花が咲いたのでした。

お話によると田嶋家では、この歴史に残る太子講を終了するにあたり、決して粗末にはできないと、その殆どを大阪市の歴史博物館に寄贈されたそうです。何でも昭和25年頃には太子講に80人ほどの人がみえていたのを覚えているとのことでした。一緒に話していた方は、昔一度太子講に参加した記憶があるといっておられました。

<豊田>

太子講の由来

飛鳥時代、聖徳太子が寺院建立つのため、太子橋のあたりに視察に来られ、近くの大庄屋田嶋家で休息された。その時、お茶によもぎ団子を添えてお出ししたところ、太子は大変お喜びになり、お礼に自身の自画像を賜ったと伝える。

これが太子講の起こりで、以来、毎年旧の2月22日、田嶋家で太子祭が催され、戦前までは、門前市をなす盛況ぶりだったといい、いまでも、田嶋家では太子祭が開かれ、当日、太子の自画像のご開帳と参拝者には故事ゆかりのよもぎ団子が配られている。

（昭和58年3月31日発行 旭区史より転載）



旧西成郡(現東淀川区)天王寺庄村平田地区の 淀川大改修の後に淀川左岸に移転した方の話 (昭和17年に旭区に編入された地区の方)

70才代後半以上の人々の話

- 渡船で対岸の豊里小学校へ通学していた。だから同級生は、対岸の豊里地区にたくさんいる。太子橋地区にはあまりいない。
- 雨で淀川が増水して渡船が止まった時、歩いて堤防上を赤川まで行き、赤川の鉄橋を渡って学校へ行った(女性)。
- 水が少ない時、裸になり教科書を頭にくくりつけ淀川を泳いで学校へいった(男性)。

60才なかばの人の話(全て同一人物)

- 昭和30年ごろの堤防の嵩上げ工事の時、小型の蒸気機関車がトロッコを引っ張って土を運んでいた。
- 堤防上、橋寺方面からレールがあり、今市中学校辺りでレールが河川敷に下っていた。
- 蒸気機関車の釜の火のついた石炭をよくもらった(炊事用の種火にするため)。
- 嵩上げ工事前は、今より2~3m低かった(水防倉庫ぐらい)。
- 嵩上げ前、淀川の水が堤防すれすれになった時、おじさんが勤めていた電々公社の倉庫(太子橋小学校の向かえの今アンテナが建っている所、鉄筋建)に避難した。
- 大水の時、川の中を牛が流されていくのを見た。
- 昭和55年の時は、今の堤防の高さまで川の水がすれすれになった。
- お父さんが渡船で東淀川区豊里に農作業にいった。
- 太子橋小学校に通っていた時「古市小学校分校」の看板があった。
- 今市中学校に通っていた時、高射砲陣地の後が残っていた。
- 淀川の東淀川側に夜、浚渫船が停泊していた。夕方乗組員がボートで太子橋側に来て、そして京阪市場で食事の買い物をして船にもどっていた。船上生活で明かりはランプで、犬も飼っていた。
- 枚方よりだんなさんが芸者衆と船で川下りをしていた。船頭さん以外にも漁師さんも乗っていて、投網で魚をとり調理していた。平田の渡しあたりで船頭さんが投げたロープを引っ張り船を岸に寄せるのを手伝った。(褒美はアメ)だんなさんと芸者衆は船から下りて滝井駅へそして京阪電車で枚方へ、船頭さんと漁師さんは船で枚方へ引き返していた。
- 堤防の上から、夜、近鉄電車(枚岡~石切)の明かりが見えた。

約30年前に60~70才位の人から聞いた話

(上辻霊園の近所の人)

- 国道1号の太子橋交差点の北西角の歯科医院(現在マンション)の所に、摂津と河内の国境の道標があった(話を聞いた時にはなかった)。
 - 上辻霊園の前の道幅は今の半分位で残りは土手になっていた。戦後そこで食物を植えていた。
- <上田(勢)>